

報告書No AR-22-YP-001064-01



オーダーコード EUAA42-00004687

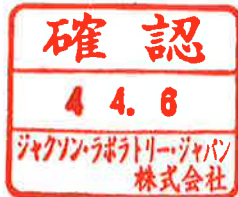
報告日 15.03.2022

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 様

ユーロフィン・フード・テストング株式会社

〒422-8071 静岡県静岡市駿河区豊原町4-10

〒162-0055 東京都新宿区余丁町10-10新宿余丁町ビル4階



分析報告書

検体番号	712-2022-02000343	受領日:	25.02.2022
		分析日:	03.03.2022 - 15.03.2022
検体情報:	ホワイトフレーク		
金属類	結果	不確かさ	単位 定量下限値
J8312 JC	ヒ素 (As として) 分析方法: DIN EN 15763:2010 (2010-04) 修正版, ICP-MS		
ヒ素 (As)	<0.1	mg/kg	0.1
J8308 JC	カドミウム 分析方法: DIN EN 15763:2010 (2010-04) 修正版, ICP-MS		
カドミウム (Cd)	0.06 ± (0.01)	mg/kg	0.01
J8306 JC	鉛 分析方法: DIN EN 15763:2010 (2010-04) 修正版, ICP-MS		
鉛	<0.05	mg/kg	0.05
J1018 JC	総水銀 分析方法: ASU L00.00-19/4 (2003-12) 修正版, CV-AAS		
水銀 (Hg)	<0.005	mg/kg	0.005
マイコトキシン類(カビ毒)	結果	単位	定量下限値
JJ006 JC	アフラトキシン B1, B2, G1, G2 分析方法: DIN EN 14123 (2008-03), mod., IAC-LC-FLD		
アフラトキシン B1	<0.1	µg/kg	0.1
アフラトキシン B2	<0.1	µg/kg	0.1
アフラトキシン G1	<0.1	µg/kg	0.1
アフラトキシン G2	<0.1	µg/kg	0.1
微生物	結果	単位	定量下限値
UMUP8 DT	酵母およびカビ 分析方法: §64 LFGB L 01.00-37, 定量-培養技術 (非酵素基質培地)		
カビ	110	cfu/g	10
ZM8QV DT	一般細菌数 (生菌数) 分析方法: ISO 4833-1, 定量-培養技術 (非酵素基質培地)		
一般生菌数 (30°C)	110	cfu/g	10
UMULP DT	大腸菌 分析方法: ISO 16649-2-M, 定量-培養技術 (酵素基質培地)		
大腸菌	< 10	cfu/g	10
UMTK5 DT	サルモネラ 分析方法: ISO 6579:, 定性-培養技術 (非酵素基質培地)		
サルモネラ	陰性	/25 g	
残留農薬	結果	単位	定量下限値
SFMA2 SF	材質の農薬スクリーニング(GC-MS/MS) 中で、選択された分析項目 分析方法: Internal Method, GC-MS/MS		
DDT, p,p'-	<0.05	mg/kg	0.05
DDT, o,p'-	<0.05	mg/kg	0.05
DDE, p,p'-	<0.05	mg/kg	0.05

この分析結果報告書について一部分を複製しての利用はできません。分析結果は本試験で使用された検体にのみ適用されます。
この分析結果報告書に記載されている結果は、顧客依頼に応じて弊社の一般販売規約に従い、取得および報告されたものです。
適合または不適合を表明する場合には、規制値または規格値の内容と比較できるように分析結果に不確かさを加算または減算した形で報告しております。

規制値または規格値があらかじめ測定の不確かさを含んでいる場合には、分析結果への不確かさの考慮を行いません。

弊社より提供する試験は5桁のコードとして表示し、顧客の要望に応じて試験の詳細説明は開示可能です。



0 5 5 0 9 3 9 1 0 0 0 0 0 1 5 1 8 6

オーダーコード EUAA42-00004687

残留農薬	結果	単位	定量下限値
DDE, o,p-	<0.05	mg/kg	0.05
DDD, p,p'-	<0.05	mg/kg	0.05
DDD, o,p-	<0.05	mg/kg	0.05
エンドリン	<0.05	mg/kg	0.05
ディルドリン	<0.05	mg/kg	0.05
γ-BHC(リンデン)	<0.05	mg/kg	0.05
アルドリン	<0.05	mg/kg	0.05
ヘプタクロル	<0.05	mg/kg	0.05
ダイアジノン	<0.05	mg/kg	0.05
パラチオン	<0.05	mg/kg	0.05
パラチオンメチル	<0.05	mg/kg	0.05
マラチオン(マラソン)	<0.05	mg/kg	0.05

ポリ塩化ビフェニル(PCB)	結果	単位	定量下限値
SFVNT SF PCB (GC/MSスクリーニングへの追加項目) (複雑な検体専用)	分析方法: Internal Method, GC-MS/MS		
PCB 28	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 52	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 101	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 118	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 138	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 153	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 180	<0.05	mg/kg	0.05

栄養成分	結果	単位	定量下限値
RL020 I3 水分 分析方法: 重量法			
水分	9.0	g/100 g	0.1

頭2文字が SF の試験は Eurofins SOFIA Berlin (Rudower Chaussee) で分析された試験です。

頭2文字が DT の試験は Eurofins INLAB GmbH Dortmund (Otto-Hahn-Strasse) で分析された試験です。

頭2文字が JC の試験は Eurofins WEJ Contaminants GmbH (Hamburg) で分析された試験です。

頭2文字が I3 の試験は Eurofins Nihon Soken (Fukushima) で分析された試験です。



Keitaro Kondo
Staff, ASM Group



Takuichiro Omi
National Business Line Leader of Food Testing Japan

***** 以下余白 *****

この分析結果報告書について一部分を複製しての利用はできません。分析結果は本試験で使用された検体にのみ適用されます。

この分析結果報告書に記載されている結果は、顧客依頼に応じて弊社の一般販売規約に従い、取得および報告されたものです。

適合または不適合を表明する場合には、規制値または規格値の内容と比較できるように分析結果に不確かさを加算または減算した形で報告しております。

規制値または規格値があらかじめ測定の不確かさを含んでいる場合には、分析結果への不確かさの考慮を行いません。

弊社より提供する試験は5桁のコードとして表示し、顧客の要望に応じて試験の詳細説明は開示可能です。

報告書No AR-22-YP-001065-01



オーダーコード EUAA42-00004687

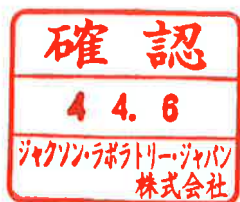
報告日 15.03.2022

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 様

ユーロフィン・フード・テストング株式会社

〒422-8071 静岡県静岡市駿河区豊原町4-10

〒162-0055 東京都新宿区余丁町10-10新宿余丁町ビル4階



分析報告書

検体番号	712-2022-02000344	受領日:	25.02.2022
		分析日:	03.03.2022 - 15.03.2022
検体情報:	サンフレーク		
金属類			
J8312 JC	ヒ素 (As として) 分析方法: DIN EN 15763:2010 (2010-04) 修正版, ICP-MS	結果 不確かさ	単位 定量下限値
ヒ素 (As)		<0.1	mg/kg 0.1
J8308 JC	カドミウム 分析方法: DIN EN 15763:2010 (2010-04) 修正版, ICP-MS		
カドミウム (Cd)		0.1 ± (0.02)	mg/kg 0.01
J8306 JC	鉛 分析方法: DIN EN 15763:2010 (2010-04) 修正版, ICP-MS		
鉛		0.46 ± (0.1)	mg/kg 0.05
J1018 JC	総水銀 分析方法: ASU L00.00-19/4 (2003-12) 修正版, CV-AAS		
水銀 (Hg)		<0.005	mg/kg 0.005
マイコトキシン類(カビ毒)			
JJ006 JC	アフラトキシン B1, B2, G1, G2 分析方法: DIN EN 14123 (2008-03), mod., IAC-LC-FLD	結果	単位 定量下限値
アフラトキシン B1		<0.1	µg/kg 0.1
アフラトキシン B2		<0.1	µg/kg 0.1
アフラトキシン G1		<0.1	µg/kg 0.1
アフラトキシン G2		<0.1	µg/kg 0.1
微生物			
UMUP8 DT	酵母およびカビ 分析方法: §64 LFGB L 01.00-37, 定量-培養技術 (非酵素基質培地)	結果	単位 定量下限値
カビ		180	cfu/g 10
ZM8QV DT	一般細菌数 (生菌数) 分析方法: ISO 4833-1, 定量-培養技術 (非酵素基質培地)		
一般細菌数 (30°C)		100000	cfu/g 10
UMULP DT	大腸菌 分析方法: ISO 16649-2-M, 定量-培養技術 (酵素基質培地)		
大腸菌		< 10	cfu/g 10
UMTK5 DT	サルモネラ 分析方法: ISO 6579-1, 定性-培養技術 (非酵素基質培地)		
サルモネラ		陰性	/25 g
残留農薬			
SFMA2 SF	材質の農薬スクリーニング(GC-MS/MS) 中で、選択された分析項目 分析方法: Internal Method, GC-MS/MS	結果	単位 定量下限値
DDT, p,p'-		<0.05	mg/kg 0.05
DDT, o,p'-		<0.05	mg/kg 0.05
DDE, p,p'-		<0.05	mg/kg 0.05

この分析結果報告書について一部分を複製しての利用はできません。分析結果は本試験で使用された検体にのみ適用されます。
この分析結果報告書に記載されている結果は、顧客依頼に応じて弊社の一般販売規約に従い、取得および報告されたものです。
適合または不適合を表明する場合には、規制値または規格値の内容と比較できるように分析結果に不確かさを加算または減算した形で報告しております。

規制値または規格値があらかじめ測定の不確かさを含んでいる場合には、分析結果への不確かさの考慮を行いません。

弊社より提供する試験は5桁のコードとして表示し、顧客の要望に応じて試験の詳細説明は開示可能です。



残留農薬	結果	単位	定量下限値
DDE, o,p-	<0.05	mg/kg	0.05
DDD, p,p'-	<0.05	mg/kg	0.05
DDD, o,p-	<0.05	mg/kg	0.05
エンドリン	<0.05	mg/kg	0.05
ディルドリン	<0.05	mg/kg	0.05
γ-BHC(リンデン)	<0.05	mg/kg	0.05
アルドリン	<0.05	mg/kg	0.05
ヘプタクロル	<0.05	mg/kg	0.05
ダイアジノン	<0.05	mg/kg	0.05
パラチオン	<0.05	mg/kg	0.05
パラチオンメチル	<0.05	mg/kg	0.05
馬拉チオン(マラソン)	<0.05	mg/kg	0.05

ポリ塩化ビフェニル(PCB)	結果	単位	定量下限値
SFVNT SF PCB (GC/MSスクリーニングへの追加項目) (複雑な検体専用)	分析方法: Internal Method, GC-MS/MS		
PCB 28	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 52	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 101	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 118	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 138	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 153	<0.05	mg/kg	0.05
PCB 180	<0.05	mg/kg	0.05

栄養成分	結果	単位	定量下限値
RL020 I3 水分 分析方法: 重量法			
水分	8.1	g/100 g	0.1

頭2文字が SF の試験は Eurofins SOFIA Berlin (Rudower Chaussee) で分析された試験です。

頭2文字が DT の試験は Eurofins INLAB GmbH Dortmund (Otto-Hahn-Strasse) で分析された試験です。

頭2文字が JC の試験は Eurofins WEJ Contaminants GmbH (Hamburg) で分析された試験です。

頭2文字が I3 の試験は Eurofins Nihon Soken (Fukushima) で分析された試験です。



Keitaro Kondo
Staff, ASM Group



Takuichiro Omi
National Business Line Leader of Food Testing Japan

***** 以下余白 *****

この分析結果報告書について一部分を複製しての利用はできません。分析結果は本試験で使用された検体にのみ適用されます。

この分析結果報告書に記載されている結果は、顧客依頼に応じて弊社の一般販売規約に従い、取得および報告されたものです。

適合または不適合を表明する場合には、規制値または規格値の内容と比較できるように分析結果に不確かさを加算または減算した形で報告しております。

規制値または規格値があらかじめ測定の不確かさを含んでいる場合には、分析結果への不確かさの考慮を行いません。

弊社より提供する試験は5桁のコードとして表示し、顧客の要望に応じて試験の詳細説明は開示可能です。

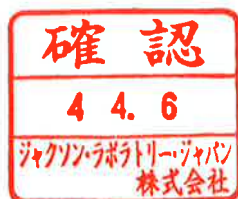


ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社 様

ユーロフィン・フード・テストイング株式会社

〒422-8071 静岡県静岡市駿河区豊原町4-10

〒162-0055 東京都新宿区余丁町10-10新宿余丁町ビル4階



分析報告書

検体番号	712-2022-03000287	受領日:	17.03.2022
		分析日:	21.03.2022 - 30.03.2022
検体情報:	ベータチップ		
金属類			
J8312 JC	ヒ素 (As として) 分析方法: DIN EN 15763:2010 (2010-04) 修正版, ICP-MS	結果 不確かさ	単位 定量下限値
ヒ素 (As)		<0.1	mg/kg 0.1
J8308 JC	カドミウム 分析方法: DIN EN 15763:2010 (2010-04) 修正版, ICP-MS		
カドミウム (Cd)		0.12 ± (0.03)	mg/kg 0.01
J8306 JC	鉛 分析方法: DIN EN 15763:2010 (2010-04) 修正版, ICP-MS		
鉛		0.09 ± (0.04)	mg/kg 0.05
J1018 JC	総水銀 分析方法: ASU L00.00-19/4 (2003-12) 修正版, CV-AAS		
水銀 (Hg)		<0.005	mg/kg 0.005
マイコトキシン類(カビ毒)			
JJ006 JC	アフラトキシン B1, B2, G1, G2 分析方法: DIN EN 14123 (2008-03), mod., IAC-LC-FLD	結果	単位 定量下限値
アフラトキシン B1		<0.1	µg/kg 0.1
アフラトキシン B2		<0.1	µg/kg 0.1
アフラトキシン G1		<0.1	µg/kg 0.1
アフラトキシン G2		<0.1	µg/kg 0.1
微生物			
UMUP8 DT	酵母およびカビ 分析方法: §64 LFGB L 01.00-37, 定量-培養技術 (非酵素基質培地)	結果	単位 定量下限値
カビ		20	cfu/g 10
ZM8QV DT	一般細菌数 (生菌数) 分析方法: ISO 4833-1, 定量-培養技術 (非酵素基質培地)		
一般細菌数 (30°C)		94000	cfu/g 10
UMULP DT	大腸菌 分析方法: ISO 16649-2-M, 定量-培養技術 (酵素基質培地)		
大腸菌		< 10	cfu/g 10
UMTK5 DT	サルモネラ 分析方法: ISO 6579:, 定性-培養技術 (非酵素基質培地)		
サルモネラ		陰性	/25 g
残留農薬			
SFMA2 SF	材質の農薬スクリーニング(GC-MS/MS) 中で、選択された分析項目 分析方法: Internal Method, GC-MS/MS	結果	単位 定量下限値
DDT, p,p'-		<0.05	mg/kg 0.05
DDT, o,p'-		<0.05	mg/kg 0.05
DDE, p,p'-		<0.05	mg/kg 0.05

この分析結果報告書について一部分を複製しての利用はできません。分析結果は本試験で使用された検体にのみ適用されます。
この分析結果報告書に記載されている結果は、顧客依頼に応じて弊社の一般販売規約に従い、取得および報告されたものです。
適合または不適合を表明する場合には、規制値または規格値の内容と比較できるように分析結果に不確かさを加算または減算した形で報告しております。

規制値または規格値があらかじめ測定の不確かさを含んでいる場合には、分析結果への不確かさの考慮を行いません。

弊社より提供する試験は5桁のコードとして表示し、顧客の要望に応じて試験の詳細説明は開示可能です。



残留農薬		結果	単位	定量下限値
DDE, o,p-		<0.05	mg/kg	0.05
DDD, p,p'-		<0.05	mg/kg	0.05
DDD, o,p-		<0.05	mg/kg	0.05
エンドリン		<0.05	mg/kg	0.05
ディルドリン		<0.05	mg/kg	0.05
γ-BHC(リンデン)		<0.05	mg/kg	0.05
アルドリン		<0.05	mg/kg	0.05
ヘプタクロル		<0.05	mg/kg	0.05
ダイアジノン		<0.05	mg/kg	0.05
パラチオン		<0.05	mg/kg	0.05
パラチオンメチル		<0.05	mg/kg	0.05
馬拉チオン(馬拉ソ)		<0.05	mg/kg	0.05

ポリ塩化ビフェニル(PCB)		結果	単位	定量下限値
SFVNT SF	PCB (GC/MSスクリーニングへの追加項目) (複雑な検体専用)	分析方法: Internal Method, GC-MS/MS		
PCB 28		<0.05	mg/kg	0.05
PCB 52		<0.05	mg/kg	0.05
PCB 101		<0.05	mg/kg	0.05
PCB 118		<0.05	mg/kg	0.05
PCB 138		<0.05	mg/kg	0.05
PCB 153		<0.05	mg/kg	0.05
PCB 180		<0.05	mg/kg	0.05

栄養成分		結果	単位	定量下限値
RL020 I3	水分 分析方法: 重量法			
水分		4.1	g/100 g	0.1

頭2文字が SF の試験は Eurofins SOFIA Berlin (Rudower Chaussee) で分析された試験です。

頭2文字が DT の試験は Eurofins INLAB GmbH Dortmund (Otto-Hahn-Strasse) で分析された試験です。

頭2文字が JC の試験は Eurofins WEJ Contaminants GmbH (Hamburg) で分析された試験です。

頭2文字が I3 の試験は Eurofins Nihon Soken (Fukushima) で分析された試験です。



Keitaro Kondo
Staff, ASM Group



Takuichiro Omi
National Business Line Leader of Food Testing Japan

***** 以下余白 *****

この分析結果報告書について一部分を複製しての利用はできません。分析結果は本試験で使用された検体にのみ適用されます。

この分析結果報告書に記載されている結果は、顧客依頼に応じて弊社の一般販売規約に従い、取得および報告されたものです。

適合または不適合を表明する場合には、規制値または規格値の内容と比較できるように分析結果に不確かさを加算または減算した形で報告しております。

規制値または規格値があらかじめ測定の不確かさを含んでいる場合には、分析結果への不確かさの考慮を行いません。

弊社より提供する試験は5桁のコードとして表示し、顧客の要望に応じて試験の詳細説明は開示可能です。